

美園交配トマト「いしかり」の

特性とその生かし方

いはずぐ機械化、大規模経営、耐病虫害品種の作付ということがいわれるけれども、現段階においては、経営内容、立地条件、主体となる作付の種類によって検討すべきものと考えられる。トマトの栽培について見ても、加工原料を除いて機械の入る余地は今のところあまり考えられない。また大反別作付による粗放栽培も、青果主体の栽培様式では流通を含めての市場機構が現在のままでむづかしい。即ち人よりも一歩でも早く、しかも良質のものを、新鮮さを強調するための包装をより良くしなければ成立たないという現段階には、むしろ省力化の方向より、反当たり二〇〇人以上の労力を投じなければならぬハウス栽培とかトンネル栽培に向かっているのが現状である。しかしこの様な栽培様式の中でも省力化の方向を見出だして行かなければ激動する経済に伍して行けない。

第1表 トマト品種の着果数 昭37 旭川学大

品 種 名	1 段花房			2 段花房			3 段花房			4 段花房			5 段花房			平均結果率	
	開花数	着果数	結果率	開花数	着果数	結果率	開花数	着果数	結果率	開花数	着果数	結果率	開花数	着果数	結果率	個	%
福寿二号	6.4	3.8	59.4	5.8	5.2	89.6	6.8	6.2	91.2	4.4	2.2	50.0	5.8	0.4	6.9	60.9	
ひかり	6.0	4.2	70.0	5.4	4.8	88.9	6.4	3.8	59.4	6.2	2.2	35.5	4.0	1.5	37.5	58.9	
宝冠二号	5.0	4.0	80.0	5.7	3.7	64.9	7.3	4.8	65.8	5.4	2.8	51.9	4.8	0.8	16.7	57.1	
いしかり	3.8	3.0	78.9	4.8	4.2	87.9	5.4	3.8	70.4	4.4	3.0	68.2	4.8	2.5	52.1	71.1	
東光	7.0	4.6	65.7	7.4	4.8	64.9	5.8	3.6	62.1	6.8	3.0	44.1	5.8	1.6	27.6	53.1	
大型東光	7.8	6.5	83.3	8.0	4.8	60.0	6.0	3.2	53.3	5.4	1.0	18.5	4.0	1.8	45.0	55.4	
栄光	8.2	6.8	82.9	5.8	4.6	79.3	5.5	3.0	54.5	7.4	1.4	18.9	5.6	2.0	35.7	54.7	
早生赤交二号	7.4	5.0	67.6	6.2	4.0	64.5	7.0	3.8	54.3	6.4	3.4	53.1	4.4	1.0	22.7	54.8	

トマト・トーン処理、摘果労力の比較的省ける品種のとりあげも省力化に通じる道であらう。

美園交配いしかりトマトの特性

熟期はひかりと同程度で特に早いとは言えないが、樹勢極めて強健で耐病性に富み、玉ノビの極めて良い腰高扁円の大果で、平均果重二〇〇gを越え、玉揃い良く層果のきわめて少ない品種である。本種は第一表のごとく着花数少なく結果率が高い。福寿二号、東光は着花数多いが結果率少ないためトマト・トーン処理を是非行なわなければならない。

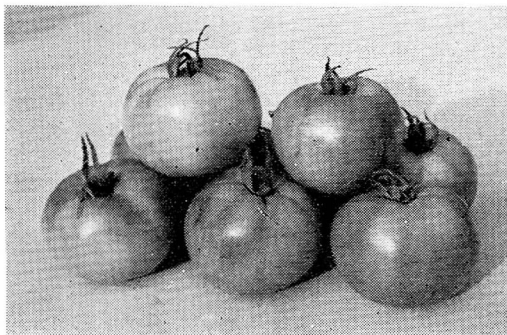
第3表 いしかりトマトの収量比較

	道農試 12株1960			旭川学大 12株1961			砂川農家 50株1962			上野幌農場 6株1961			種播率
	初	全	割	初	全	割	初	全	割	初	全	割	
ひかり {kg}	37	157	%	44	176	%	82	322	%	41	82	%	2.5
宝冠二号 {kg}	49	177	138	47	173	99	—	—	—	32	76	173	3.5
東光 {kg}	48	161	124	66	205	115	—	—	—	38	85	182	3.0
福寿二号 {kg}	37	170	100	77	232	100	101	329	100	35	74	154	4.5
いしかり {kg}	4.2	22.3	141	7.3	23.2	106	127	320	134	23	58	226	2.5
日の出 {kg}	34	156	119	61	242	129	114	359	118	38	85	159	2.5

りすると徒長させて爾後の育苗に支障を来し易いものである。本種はどちらかといえれば稚苗時の生育緩慢であるが、第一回移植後の生育良好である。育苗中の低温には強

第2表 トマトの生育調査(苗床)
(昭和37 旭川学大)
播種期 3月21日 移植 4月7日・5月6日

	1回目4月20日			2回目4月30日		
	草丈	茎直徑	葉数	草丈	茎直徑	葉数
福寿二号	13.3	3.3	3.2	31.3	6.0	6.9
ひかり	12.9	3.1	3.2	24.4	5.9	6.2
宝冠二号	13.8	3.4	3.1	26.4	5.6	5.8
いしかり	11.8	3.0	3.1	26.8	6.0	6.3
東光	11.0	2.5	3.0	23.1	5.8	5.6
大型東光	10.9	2.8	2.6	22.5	5.4	5.7
栄光	11.7	2.6	3.1	26.6	5.8	6.7



いしかりトマト

育苗の要点

圃場での生育はきわめて旺盛で、いかなる土壌にても栽培容易で、福寿二号、東光、ひかりなどで見られる瘦地、乾燥地での能力低下はみとめられない。むしろ肥沃地にては施肥を控えた方が良く、草勢を見て追肥を行えば、疫病に強いことと共に秋晩刈取穫を続ける品種である。

育苗し易い点と、着花数少なく結果率が良いので、いずれの栽培型にも適応するが、大果すぎる点と樹勢が強すぎるため、ハウス栽培よりはむしろトンネル、露地早熟栽培にて能力の高い品種である。育苗場の今迄の調査では露地栽培でトマト・トーン処理を行わなくとも収量の差は少ない。ただひかりと熟期が同程度で、初期収量が少ないため、短期間でもトンネルを利用することができれば一層本種の特性を發揮することができる。